

## 1 調査実施日・対象学年

平成29年4月18日（火） 第6学年

## 2 調査目的

○児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

○以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 3 結果公表の趣旨

本調査の結果を公表することは、保護者や地域住民の方々に対して説明責任を果たすために行うものです。調査結果の分析は、上志津小学校における教育活動の改善に生かすために活用します。ただし、本調査により測定できる学力は特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどをご理解ください。

## 4 結果の概況

○国語A問題の評価観点「言語についての知識・理解・技能」は良好、「話す・聞く能力」「読む能力」については、おおむね良好な結果であった。B問題の「話す・聞く」ことについては大変良く、「書く能力」「読む能力」については、良好な結果であった。

○算数A問題の評価観点「数量や図形についての知識・理解」、B問題の評価観点「数学的な考え方」については、おおむね良好な結果であった。

## 5 全国学力・学習状況調査結果の分析（○成果●課題※対策）

## &lt;国語A&gt;

○「学年別配当漢字表に示されている漢字を正しく読む・書く」「目的に応じて文章の中から必要な情報を見付けて読む」ことについては良くできている。

●「目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書く」「手紙の構成を理解し、後付けを書く」ことについては、課題がある。

※目的や意図を明確にして、書く事柄を選び、書きたいことの中心が伝わるように詳しく書いたり簡単に書いたりすることができるように指導していく。

※表書きに宛名や住所などを正しく書くことや、後付けにおける署名と宛名の位置関係といった手紙の基本的な形式などについて指導する。

## &lt;国語B&gt;

○「目的や意図に応じて構成や内容を工夫して自分の考えを、適切な言葉遣いで話す」「目的や意図に応じて引用して書く」ことについては、とても良くできている。「物語を読み、理由を明確にして自分の考えをまとめる」ことも良くできている。

●「目的や意図に応じて文章全体の構成を考え、必要な内容を整理して書く」ことについては、課題がある。

※文章の種類や特徴を踏まえ、それぞれの段落の内容としてどのようなことを書けば良いのかを考えて自分の考えを一貫して記述することができるように指導していく。

※目的や意図に応じて書く事柄を収集した上で、その中から具体的な事実と自分の感想、意見などを区別しながら内容を整理して書くことができるように指導していく。

## &lt;算数A&gt;

○「計算の意味と計算の仕方、量の比較や測定、立方体の面と面との位置関係の理解」「最小公倍数を求める」ことについては良くできている。

●「たし算とかけ算が混合した整数と小数の計算をする」「わり算の答えを分数で表す」「底辺と面積の関係、正多角形の性質を理解していること」「□を用いて問題場面をわり算の式に表す」ことについては、課題が見られた。

※計算のきまりは単に暗記するのではなく、具体的な場面と式を結び付けながら理解できるように指導していく。

※整数のわり算の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを、図などを使って実感的に理解できるように指導する。

※面積を求める式と具体的な図の併用で面積の求め方を理解し、いろいろな正多角形を構成・分解する活動を通して正多角形の性質を見いだすとともに、その性質の理解を深めることができるように指導する。

※問題場面を的確に捉えて図に表し、□などの記号を用いて式をつくることができるようにする。

#### <算数B>

○「日常生活の事象を、割合を活用して解釈したり、それを数学的に表現したりする」

「問題場面から見いだした数量の関係を考察し、それを一般化して表現したりすることについては良くできている。

●「割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶ」ことについては課題が見られた。

※問題を解決するために、目的に合った適切な表やグラフを選択したり、読み取ったり、グラフどうしを関連付けて解釈したりするなど、表やグラフを活用できるように指導していく。

#### <意識調査>

○「5年生までに受けた授業では学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた」

「5年生までに受けた授業では自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う」

「5年生までに受けた授業では自分たちで課題を立てて解決に向かって情報を集め、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う」と、大変多くの児童が回答していました。

「5年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う」

「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う」

「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う」と、多くの児童が回答していました。

これは、コミュニケーション能力の育成を柱に研究に取り組み、研修したことを日々の授業に生かしてきたことや、総合的な学習の時間を通して学んだことを1学年下の児童に向けて発表していること、外国や県外の小学校との交流を図っていること等の成果の一つと考えられます。これからも引き続き一人一人の力を伸ばし、夢と希望を育む教育を推進していきます。

●「今住んでいる地域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」「地域社会などでボランティア活動に参加している」「話し合い活動で少数意見の良さを生かしたり、異なる意見がいくつか出ても話し合いで折り合いをつけたりして意見をまとめている」「毎日同じ時刻に寝ている」「家で計画を立てて勉強をしている」と、回答している児童がやや少ないことが課題であると考えられます。

※学校と家庭、地域社会の連携をさらに良いものにして、共に育てる環境づくりを推進していきます。話し合い活動の質を高める指導や、より良い生活習慣を身に付ける教育支援、効果的な宿題の出し方などを検討して、具体的な手だてを講じて学校全体で共通指導を図っていきます。